

平成 29 年度 公立はこだて未来大学卒業論文

知識ベース型推薦を用いたフードツーリズム支援システムの構築

三好 良弥

情報アーキテクチャ学科 1014127

指導教員 奥野 拓

提出日 平成 30 年 01 月 31 日

Development of a Food Tourism Support System Using Knowledge-based Recommendation

by

Ryoya Miyoshi

BA Thesis at Future University Hakodate, 2017

Advisor: Taku OKUNO

Department of Media Architecture

Future University Hakodate

January 31, 2018

Keywords: Knowledge-based Recommender System

キーワード: 知識ベース型推薦

目 次

第 1 章	序論	1
1.1	背景	1
1.2	研究目的	1
1.3	本論文の構成	1
第 2 章	関連技術	2
第 3 章	関連研究	3
第 4 章	提案手法	4
第 5 章	実験	5
第 6 章	結論	6
6.1	まとめ	6
6.2	今後の展望	6

第1章 序論

1.1 背景

近年、ニューツーリズムの振興 [1] により、地域らしい料理が重要な観光資源となっている。こうした、地域らしい料理を食べることを目的とした旅のことをフードツーリズムと呼ぶ。日本フードツーリズム協会 [2] は、フードツーリズムを、地域ならではの料理・食文化をその地域で楽しむための旅と定義している。また、フードツーリズムには地域らしい料理・食文化、それを引き立てる体験、場所、人の4つの要素があると定義している。

じゃらんが実施したアンケート [3] では、観光客が観光地を選んだ理由のひとつとして「地域らしい料理・特産品に興味があったから」と回答した人が41.6%であった。このことから、観光客は地域らしい料理を旅行の際に重要視していることがわかる。

観光客がフードツーリズムの重要な要素である地域らしい料理を探す方法の一つとしてグルメサイトを用いて検索する方法がある。しかし、観光客によって地域らしい料理に求める条件が異なるため、観光客が期待する料理を探すことは容易ではない。

1.2 研究目的

本研究では、観光客の嗜好や状況を考慮した地域らしい料理の推薦を行うことで観光客の満足度向上を目指す。そこで、本研究では知識ベース型推薦を用いた地域らしい料理推薦システムを提案する。

1.3 本論文の構成

本論文は全6章で構成されている。第1章では、本研究の背景および研究目的について述べた。第2章では、関連技術について述べる。第3章では、関連研究について述べる。第4章では、本研究で提案する地域らしい料理推薦システムの構築について述べる。第5章では、実験方法および実験の結果、結果から得られた考察について述べる。最後に第6章では、本研究のまとめと今後の展望を述べる。

第2章 関連技術

第3章 関連研究

第4章 提案手法

第5章 実験

第6章 結論

6.1 まとめ

6.2 今後の展望

謝辞

参考文献

表 目 次

図 目 次